

平成30年度第1回 下野市地域公共交通会議 会議録

	平成30年6月26日(火) 午後2時00分～午後3時15分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田委員(会長)、山本委員、山田委員、小口委員、渡邊委員、大島委員、稲見委員、高瀬委員、栗田委員、鈴木氏(益子委員代理出席)、中村氏(黒岩委員代理出席)、矢吹幸大、福島氏(塩田委員代理出席)、山水氏(保坂委員代理出席)、荒川委員
欠席者委員	若林委員、小矢島委員、鉢村委員、川中子委員
傍聴者	なし

次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 会長あいさつ
5. 議題
 - (1)下野市デマンドバスの現状と分析等について
 - ①平成29年度デマンドバス利用状況等
 - ②現状と分析
 - (2)地域公共交通確保維持事業について
 - (3)議事録の確認について
 - (4)平成32年度以降の運行について
 - ①県内の運行状況について
 - ②今年度の会議スケジュールについて
 - (5)その他
6. 閉会

○開会
 (事務局) 欠席者の報告
 若林委員
 小矢島委員
 鉢村委員
 川中子委員 4名欠席

○委嘱状交付
 市長より矢吹氏へ委嘱状を交付。

○市長挨拶

(市長) みなさんこんにちは。第1回下野市地域公共交通会議ということで、ただ今新しい矢吹委員に委嘱状の交付をさせていただいた。委員を委嘱させていただいて、お引き受けいただいた皆様には改めて感謝を申し上げたい。

今、デマンドバスというところの地域でも当たり前のように、そして通常こういった形でシステム化されている。若干やり方が違うところはあるが、地域の足を作るという施策の展開としては、どこの自治体も苦心をして、行っている施策となっている。

下野市においても3つの町が合併をし、面積としては小さな市なのだけれども、そこにおいて3地域をしっかりと1時間以内に回るといった形の中で、地域内公共交通という足を作る目的で施策が展開されてきた。ある意味しっかりと根付いてきたという感じはする。

しかし、後年に向けてどのように発展させていくのか、また地域において本当の意味で、もっともっと使いやすい足にすべく問題は何なのか、この公共交通会議を軸に様々な検討をしていただくようだと考えている。

本市では、平成23年11月からこのシステムが運行されて今日までできた。今後また改めて変化を考えていっていただかないととけないのは、車両の問題、エリアの問題、公共ネットワークについてなどで、一つ一つの細かな部分や、そして地域の皆様のいろいろな意見、車の中にアンケートを置かせていただきながら返ってくる答えなどを拾い上げる部分と、それからまた皆様方が将来に向けてこうあってほしいというのを、うまく備え合わせもっていかなければいけないと考えている。そういった部分について会議の中でご意見をいただき、活発に未来に向けての施策を作り上げていかなければと考えている。

免許返納問題がどんどん出てきている。免許を返納しても今までと何ら変わらない生活ができるというのが最高だが、それもなかなか難しいところもあると思う。しかし、そこに限りなく近づいていけるような施策を考えていかなければならないのが、地域における公共交通といわれる公の足であると考えている。

免許を返納して交通安全に寄与したが、しかし今度は家から出なくなった、閉じこもりになったでは、我々が思っている施策とはまた違う問題が発生してしまうので、そうではなくて、より便利でより安全で、そしてみんなが安心できる生活を送れる施策にしっかりと取り入れていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

様々なご意見をいただき、そして検討を繰り返しながらより地域に密着した施策になるようなシステムを、作りあげていきたいと考えている。今度とも皆様方にご協力をいただき、しっかりと運営していきたいと考えているので、よろしくお願いを申し上げて、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

〈市長退席〉

○会長挨拶

(会長) 皆さまこんにちは。今日は議題ということで、平成 29 年度のデマンドバスの利用状況や地域公共交通確保維持事業についての申請などの大事な案件もあるので、ぜひ慎重なご審議をお願いします。

また、32 年度以降の運行についてという議題もあるので、そちらについてはぜひ皆さんの忌憚ないご意見をいただきたい。

(事務局) 〈職員自己紹介〉

資料確認

(会長) 議事に入る前に、議事録署名人を指名する。

名簿No.6 番 渡邊委員、名簿No.16 番 荒川委員のお二方をお願いしたいと思うがよろしいか。

(議事録署名人決定)

会議成立報告

議事 1 【平成 29 年度デマンドバス利用状況・現状と分析】

事務局説明

●資料 1・2 について質疑

質疑なし

(事務局) 議事 2 【地域公共交通確保維持改善事業について】

事務局説明

●資料 3 について質疑。

- (委員) 計画の 1 ページ 3 番にある実際の事業は、昨年度までやっていた事業の継続ということでしょうか。今回から新しく始めたものがあれば教えていただきたい。
- (事務局) 継続事業になっている。
- (委員) 利用人数の目標値は、現状と分析のところでは 30 年度は目標値 40,700 人の 91% を目標とするとなっていたが、実際に事業として新しいことをやった方が利用が増えるのではないかと考えている。利用者を増やすための方策として何か考えているのか。
- (事務局) 新たな事業というわけではないが、昨年度の会議の中でも出た話で、市内の小中学校に塾通い等に利用している生徒がいるので、それをもう少し拡大して利用してもらえればと考えている。その辺を周知していくことで、利用増加につながればと考えている。
- (会長) 地域公共交通確保維持改善事業についてはこちらで申請させていただく。なお、この資料 3 は会議後回収するのでよろしく願います。

議題 3 【平成 29 年度第 3 回地域公共交通会議議事録の確認について】
事務局説明

- (事務局) 訂正箇所等あれば 7 月 6 日までにご連絡いただきたい。議事録調整については会長と事務局で行うのでご了解いただきたい。
- (会長) 少し見ていただいて、訂正箇所があればお願いします。会議録は公表するのか。
- (事務局) 前回と同じような形で公表したいと思う。
- (委員) 7 月 6 日までということだったが、発言内容等は今ここで確認してしまってもよいのではないかと。

(異議なし)

(会長) それでは皆様のお名前があるところを見ていただければと思う。特段意見がなければこれで了承とする。

(事務局) 今回は遅くなってしまったが、次回には開催通知と併せて議事録もお送り出来ればと考えている。

(会長) よろしいか。この後ご意見等あれば事務局に言っていただきたい。

議題 4【平成 32 年度以降の運行について】

事務局説明

●資料 5・6 について質疑

(会長) 平成 32 年度以降の運行についてということで説明があった。運行上の課題について次回の会議にて整理していただくということだったが、この段階で何かご質問はあるか。

(委員) 資料 5 の中で、タクシー事業者として車両形態について気になる点がある。たとえば、下野市のように 10 人乗りのバスを使っているのか、セダン車両を使っているのか、ワゴン車を使っているのか、その辺の状況も分かれば参考として載せていただけるといいと思った。本数だけしか書いていないので、その辺がわかればもう少し精査したいと思う。

また、下野市のデマンドの予算が他地区と比べてどうなのかということも、見直した方がいいのではと思っている。

もう一つ、利用者を伸ばすという目的があるのだから、その辺をもう一回よく精査した方がいいのと、車両の有効活用ということも必要だと思う。

デマンドだけということではなく、他の事例だと、一般タクシー車両を使いながら需要に合わせてデマンドに変えたり、需要のない時はタクシーとして運用したりというような活用方法もあるし、新たな車両を要するという費用の削減も図れると思う。環境対策ももちろんあ

るが、そういった方向で予算をできるだけ削減するという方法もあると思う。

最後にアンケートについてだが、実際に乗っている方のアンケートはとても参考になるのだが、乗れない人たちがいると思う。移動したくても使えていない人たち、そういう人たちの意見を吸い上げる方法も考えていただけたら、新規の利用者も増えてくると思う。実際に利用している人の意見も大事だが、使いたくても使えないという人もかなりいると思うので、その辺をどこかでうまくフィードバックできるような方法を考えていただけたらと思う。

(会長) 資料の車両形態など加えられるところは加えていただいて、あとは使いたいけど使えない人たちをどうフォローアップしていくかも重要なことなので、そのあたりもこの場で議論できればと思う。

(事務局) 先ほどお話があった内容だが、車両形態等こちらの資料では分からないので、確認のうえ、次回の会議で資料として提示したい。

乗らない人や乗れない人の意見について、それを踏まえてアンケートをとり、そういう人の意見を把握できるようにしたいと思う。

(事務局) 委員がおっしゃったアンケートの関係だが、平成 32 年度に新しく下野市公共交通網形成計画の策定を予定しており、それに関連して、立地適正化計画に絡んでくる地域在住の方や、それ以外の地域の方も含め、平成 31 年度は予算を組んで大きいアンケートを実施したいと考えている。そこで先ほどお話のあった方の意見も吸い上げられるようなアンケートを実施することと、あと本年度中に去年と同じような形で、もう 1 回やる必要があると考えている。

一般タクシーの車両の利用についても、いろいろ研究はしているが、県全体でタクシー事業所の車両数の制約や運転手の不足などいろいろあるようなので、その辺の情報をいただきながら、運行させていきたい。

議題 5【その他】

(事務局) 事務局説明

二次交通手段として、国の方で自転車活用推進法というものが平成 29 年 5 月に施行され、自転車政策についてもこの検討会議の中で、先進事例の研究を行いながら、平成 32 年度に策定予定の地域公共交通網形成計画の中に取り入れていくことも予定している。今後もこの会議のなかで時間をいただき、そちらについても情報提供し、協議していただくことも出てくると思うのでご協力をお願いしたい。

(会長) 本日の議題については、以上とする。

閉会